

あいさつ

みはら市民大学は、昭和48年に三原高齢者教室として発足、以後、三原市老人福祉大学、三原市老人大学、みはら市民大学と校名改称を経ながら、創立以来50有余年にわたり、高齢者の生きがいつくり、仲間づくり、健康づくりの場としての役割を果たしてきた歴史と伝統のある学び舎です。

みはら市民大学の魅力は、一人で学ぶ「独学」と異なり、講師の先生から直接指導を受け、専門的な知識や技能の理解・習得を一層深めることができることです。学びの深まりがその後の活動の原動力になっています。また、多様な知識と経験をもつ仲間とともに学ぶ、楽しさや充実感も大きな魅力です。日々の学習の場はもちろん、大学祭など様々な発表の場を通じての親交は、人生をさらに有意義なものにしてくれます。

本学には卒業がありません。意欲と元気さえあれば、いつまでも在籍し学び続けることができます。30年以上在籍の方もいらっしゃいます。また、二講座、三講座かけもちして学ばれている方もおられます。いずれの皆様も、ここで学び続けることが元気に過ごす源だとおっしゃっています。

「人生100年時代」の到来間近という声も聞くようになった今、新たな学びや仲間との出会いを糧に、これからの人生をより元気で充実したものにするため、一人でも多くの皆様
が、みはら市民大学に入学されることを願っています。



みはら市民大学学長 山田 恭樹